子ども救急員育成プロジェクト　Kids' First Aid School
「子どもたちが大切な命を守る！」

特定非営利活動法人
日本応急手当普及員協会

６月30日（日）に小杉文化ホール（ラポール）で参加者説明会を行いました。講習日程や注意事項について説明した後、子どもたちとその保護者を対象に、心肺蘇生法やAEDの取扱について実践形式の講習を行いました。

７月７日（日）に射水消防署で消防署員2名の協力を得て、基礎講習を実施しました。講習では、止血法や搬送法、三角巾を利用した固定の仕方などを学びました。

７月２１日（日）に小杉文化ホール（ラポール）で講習を実施しました。大阪済生会千里病院　救命救急センターの伊藤裕介先生と大阪大学医学部附属病院　高度救命救急センターの大西光雄先生の２人を講師に迎え、心肺蘇生法や止血法などについて学びました。

８月３・２５・３１日に小杉文化ホール（ラポール）で、救命模擬現場クリア訓練を行いました。これまで学んだ心肺蘇生法やAEDの取扱、止血法、搬送法を繰り返しトレーニングし、９月７日（土）の成果発表会に備えました。

９月７日（土）に射水消防署で救命模擬現場体験会を開催しました。体験会では、散歩中の人が倒れて心肺停止状態となったり、樹木剪定中に脚立から落下し、足を骨折した等の４つの指令（シナリオ）を用意しました。子どもたちは5チームに分かれ、これまで学んだ応急手当の技術を生かし、次々と指令をクリアしました。体験会終了後には、参加した小学生１１人に認定証を交付しました。

10月12日（土）に開催された「第2回大阪千里子どもメディカルラリー」に、当プロジェクトを履修した、歌の森小学校5年生の老月裕貴さんと中太閤小学校5年生の横田明香里さんが参加し、見事優勝しました。（全11チーム参加、うち射水市1チーム参加）

10月25日（金）には、小杉庁舎を訪れ、夏野市長に優勝の報告を行いました。